

政策提言書の提出

龍ヶ崎市議会では、議会に提案された議案を審議するだけでなく、市民の皆さまの声を聴き、市政に反映していく「政策サイクルの実現」に向けた取組を進めています。

その一環として、市政の重要なテーマや課題について、議員同士が自由に意見を交わし、議論を深めることで、議員間の共通認識の醸成や合意形成を図る場として、令和8年3月から4回にわたり「政策討論会」を開催しました。

政策討論会では、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」後期基本計画の策定に向けた政策提言の内容について議論を重ね、その成果を取りまとめた政策提言書を、令和8年5月22日に萩原市長へ提出しました。



提言の背景・目的

現在、後期基本計画の策定中である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」では、人口減少と少子高齢化の進行を重要な課題として捉え、若者世代の定住促進や子育て世代の転出抑制に向けた施策を展開することとしています。

人口減少の抑制に向けては、子育て世代の転出抑制のみならず転入促進を図ることが肝要であり、市民が安心して子どもを育て、市内で働き、移動に困らず住み続けられる環境を整えることが必要です。

そのためには、子育て支援や医療・福祉の充実、住環境整備、雇用の場の確保、公共交通の再構築など、生活基盤全体を支える施策を計画的に進めることが求められます。また、地域資源を活用した戦略的な土地利用や交流機能の強化を通じて、にぎわいを生み出し、定住人口と交流人口の双方を増やしていくことも重要です。

以上の観点から、下記の提言項目を後期基本計画に盛り込み、具体的かつ重点的に推進することを提言しました。

「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画の策定に向けた提言項目

- 1 身近な地域における子どもの居場所や子育て支援拠点の整備・充実を図ること
- 2 誰もが安心して生活ができる地域医療・高齢者福祉体制の充実を図ること
- 3 若者の移住・定住を見据えた住環境整備と空き家等の活用を推進すること
- 4 住宅、産業、交流機能を視野に入れた戦略的な土地利用を推進すること
- 5 公共交通に関する市民ニーズを適切に反映し、市内全域で平等に利用できる交通体系の構築を推進すること

龍ヶ崎第二高校との連携活動

龍ヶ崎第二高校の2学年では、今年度、探究的な学習の一環として、地域の課題に特化した「地域探究グループ」を編成し活動に取り組むこととしています。

7月13日、この活動の本格的な始動にあたり「スタートアップセレモニー」が開催され、その中で、生徒の皆さんから探究テーマの発表等が行われました。

今後、年度を通じて、フィールドワークやデータ分析、政策立案等を行い、年度末には成果発表の場として生徒から政策提案がされることとなっています。

本市議会では、生徒の皆さんがより深い視点で地域の未来を考えることができるよう、市執行部とともに連携し協力してまいります。



総務教育委員会行政視察（7月13日～14日）

【視察内容】

▶ 中心市街地活性化の取組について（上田市）

「まちづくり上田株式会社」の設置を中心に、空き店舗対策やにぎわい創出など、持続可能なまちづくりの在り方について学びました。

▶ 不登校児童・生徒の教育支援の取組について（長野市）

教育支援センター「SaSaLAND（ササランド）」を中心とした児童・生徒一人ひとりの状況に寄り添い、多様な学びの場を確保する支援体制について理解を深めました。



健康福祉委員会行政視察（7月29日～30日）



【視察内容】

▶ 聴こえくつきり事業について（山形市）

難聴の早期発見から補聴器購入、装着後のフォローまでの一貫した支援体制について学びました。

▶ シェルターインクルーシブプレイス「コパル」(山形市)

障がいの有無や国籍、家庭環境の違いに関わらず、すべての子どもたちに開かれた遊び場を目的として設計された施設を見学しました。

▶ 健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）について（山形市）

運動や健診でポイントを付与し、市民の自発的な健康づくりを促す仕組みについて学びました。

都市経済委員会行政視察（7月16日～17日）

【視察内容】

▶ ふるさと納税について（坂井市）

市民から寄附金の使い道のアイデアを募り、市民を含む検討委員会で事業の選定を行う「寄附市民参画制度」の取組を通じて、今後のふるさと納税について、どこの市町村でも衰退が懸念されていることを改めて認識しました。

▶ 公共交通について（小松市）

自動運転バスやライドシェアなど、地域の実情に応じた移動手段の確保や利便性向上に向けた施策を通じて、誰もが安心して移動できる交通体系について学びました。



議会運営委員会行政視察（7月9日～10日）



【視察内容】

▶ 民間主導による地域創生モデルの取組（三重県多気町）

複合商業施設「VISION（ヴィゾン）」を視察。食と文化をテーマに民間活力を最大限に活用した複合施設による、持続可能な地域活性化と地方創生の手法を学びました。

▶ 議会改革の取組（四日市市）

決算審査と予算審査を連動させる政策サイクルの仕組みや政策研究会を通じた政策提言の取組、高校生との意見交換の場の創出等について理解を深めました。